

# 2021年度 学生懇談会

大学に対する意見・質問事項一覧（抜粋）

<追記：2023年1月時点 意見・要望等の検討状況>

## 2021 年度学生懇談会 大学に対する意見・質問事項一覧

○学生支援(奨学金、授業料免除、学生宿舎、就職活動等)に対する意見・質問・要望等				
No.	意見・質問事項	担当部署	回答(2021年11月時点)	検討状況(2023年1月時点)
1	<p>・学部3年生の春～秋頃に、学科ごとで就職活動や大学院進学について同期や先輩、先生方と気軽に話し合える機会や場があるといいと思います。</p>	学生・キャリア支援課	<p>・各学科ごとにまとめた開催という案について学生・キャリア支援センターと検討して参ります。</p> <p>また、先輩や先生方にもご参加いただくというコンセプトについては各学科と相談していきたいと考えます。</p>	<p>各学科及びコースなどで進学や就職に関する相談会を開催していると認識しています。</p> <p>学生・キャリア支援センターとしては各学科・コース開催の相談会への参加について照会を行い、可能であれば参加させて頂く形で今後支援を行っていただければと考えております。</p>
6	<p>・新型コロナウイルスの影響でバイトができず、一人暮らしの生計がギリギリなので、実家の税金などによって制限のない奨学金の制度を設けていただきたい。</p>	学生・キャリア支援課	<p>・奨学金を真に必要な方へ授与するためには、応募者自身のアルバイト等による収入情報だけでなく、生計維持者の収入情報も踏まえた「世帯」に対して家計評価を行う必要があります。この点をご理解の程よろしく申し上げます。</p> <p>本年6月には、新しい奨学金制度「みがかずば支援奨学金」を設置し、新型コロナウイルスにより学資(学業継続)事情が困難であるが、学修・研究を続ける強い意志と計画を有する方へ奨学金を授与しております。</p> <p>今後も奨学金だけに限らず学生生活のサポートを検討してまいります。</p>	<p>2021年11月に学生の有志によって実施された取り組みを大学が引き継ぎ、2022年2月からトイレに生理用品の設置を開始しました。</p> <p>また、全学生対象ではないのですが、一部の学生へ、生協(購買・売店)の利用券配付を行いました。</p>

7	<p>・留学生が小石川寮に入寮できない理由は何でしょうか。小石川寮は寮費が安く、奨学金などの支援を受けなくても経済的な負担にならない程度です。所在地も大山寮より大学に近くて、音羽館より大学の門限に制限されないといったメリットがあると思われます。そのような学生寮に日本人学生しか入居できないのは、留学生の立場から差別されているように思いかねません。何かの理由によって設けられたルールだと考えられますが、その理由をお聞かせしていただけませんか。</p>	<p>学生・キャリア支援課</p>	<p>・国際学生宿舎は、日本人学生と留学生との混住方式の学生宿舎となり、国際交流の推進にも寄与することを目的に設置しています。その目的のためにより多くの留学生に入寮していただく学生寮としております。また、小石川寮は、現在は日本人大学院生を対象とした学生宿舎で、入居学生の自治により運営されています。</p> <p>国際学生宿舎が廃止となることから、学内の音羽館（新学生宿舎）においても留学生の入寮を行いますが、留学生数によっては入寮対応が難しくなる場合も考えられ、今後他の学生寮に入寮ができるかを検討することとしております。</p>	<p>小石川寮については、2024年4月から、外国人留学生の入寮を許可することを決定しています。入寮開始にあたっては、寮自治会とともに必要な準備を進めてまいります。</p>
---	--	-------------------	--	--

○教務(教育課程、履修登録、教員免許、各種証明書等)に対する意見・質問・要望等

	意見・質問事項	担当部署	回答(2021年11月時点)	検討状況(2023年1月時点)
7	<p>・ブレンド授業ではなく、講義はオンライン授業に統一してほしい。オンライン授業の方が、天候や社会状況にあまり影響されずに自分の時間をうまく使って学習が進められる。またオンライン授業の間に対面授業を挟むと、その分の配布資料のみが紙媒体になって学習しづらい。加えて、リアルタイム(zoomなど)方式だけでなく、</p>	<p>学務課</p>	<p>・授業の実施形態については、オンラインの継続要望がある一方、対面の要望もあり、学生の皆さんから様々なご意見をいただいております。専門科目の講義に関しては、対面授業であれば授業の前後に、受講生同士が対面で意見を交わし気軽にコミュニケーションをとることができるというメリットもあるため、「レベル1」においては、ブレンド方式の授業としていま</p>	<p>授業の実施形態については、2022年4月より原則対面、ということで今年度は進めてまいりました。大学等における高等教育は、オンライン等を通じた遠隔授業の実施のみで全てが完結するものではなく、豊かな人間性を涵養し、人格の完成を目指す上では、直接の対面による学生同士や学生と教職員の間の人間的な交流も重要な要素と考えるためです。今後も感染対策を講じつつ、オンラインのメリットも採り入れた上で</p>

	オンデマンド方式も導入することで個人々の学習スタイル確立の自由度を高めさせてほしい。		す。引き続き学生の皆さんの要望に耳を傾け、感染防止と両立した授業のあり方を検討してまいりますので、授業アンケートの回答にご協力をお願いします。	原則対面の実施方針は維持していきたいと考えております。
1 4	・レポートの提出方法が授業ごとに異なる(Plone、Moodle、Google Classroom、メール等)ことを少し不便に感じるのですが、統一することはできないのでしょうか。	学務課	・レポートの提出方法を一律に定めることは難しいです。ただし、本学の中で様々な教育支援ツールが乱立しているのは望ましい状態とはいえないので、統廃合を検討しているところです。	学内に様々な教育支援ツールが乱立しているのは望ましくないと考え、学修支援 Plone につきましては、移行期間を経て2022年3月をもって閉鎖いたしました。

		担当部署		検討状況 (2023年1月時点)
○大学全般(施設関係、保健管理センター、図書館等)に対する意見・質問・要望等				
1	・スマートフォンでシラバスやポータルサイト、附属図書館のHPを閲覧する際、パソコン用の画面と同じで見にくいと感じるときがあります。大学のHPやMoodleのようにスマートフォン用の画面があるとありがたい。	図書・情報課	<p>・ご指摘のとおり、図書館ホームページはパソコン用の画面サイズにのみ対応しており、ご不便をおかけしております。</p> <p>現在、図書館HPは独自のシステムを使用しています。大学HPを管理するシステムに移行すればスマートフォン等にも適した画面になるため、現在移行を検討中ですが、移行にあたってはシステムの調整費用やコンテンツの移行作業が発生します。早急な対応が難しい状</p>	図書館HPは令和5年度冬頃を目処に、リニューアル予定です。順次、大学HPと同じように、スマートフォンでも見やすい画面に移行いたしますので、いましばらくお待ちください。ご不便をおかけいたしますが、どうぞよろしくお願いいたします。

況ではありますが、学生さんや先生方が使いやすいホームページにできるよう、検討を進めてまいります。

なお、図書館の一部のサービス（OPAC、Ochanomizu Search、TeaPot）はスマートフォン等にも適した画面提供の機能を有していますので、どうぞご活用ください。

また、シラバスやポータルサイト画面についても、スマートフォン用画面を追加するには調整費用や移行作業、特にポータルサイトについては履修登録との関連もあるため、検討事項が多くなかなかご要望にお応えできない状況です。

ご不便をおかけしますが、今しばらく現状の画面で情報検索等行っていただくようお願いいたします。